

「宇都宮市オープンデータポータルサイト」 の開設について

1 目的

平成26年度から市公式ウェブサイトで公開しているオープンデータ※について、デジタル社会における市民の一層の活用や企業等による高度利用を促すため、コンピュータ等で処理がしやすい形式のデータを多く搭載するとともに、豊富なメニューや優れた機能を備えるなど、これまで以上に利便性を向上させた「宇都宮市オープンデータポータルサイト」を新たに開設する。

※ オープンデータとは
機械判読に適したデータ形式かつ営利・非営利を問わず二次利用が可能なルールにより公開され、無償で利用できるデータ

2 「宇都宮市オープンデータポータルサイト」の概要・・・別紙参照

<https://data.city.utsunomiya.tochigi.jp/>（令和4年3月1日からアクセス可能）



▲サイトトップページのQR

(1) サイトの機能

ア カタログページ

- 全てのオープンデータを「カタログ」のように一覧表示し、なおかつデータの探索を容易にする複数の検索機能を搭載（搭載データ数450程度）
- 特に利用の多い形式であるExcelとCSVのオープンデータは、都度ダウンロードすることなく、ページ上で内容閲覧できる機能を搭載

イ ダッシュボード（データをグラフや地図などで視覚化したもの）の新設

特定のオープンデータについて、数値等が持つ特徴をグラフや地図に可視化したうえで、トップページに表示

ウ 利用者によるオープンデータ活用事例の紹介

本市のオープンデータをサービス開発や研究等に有効活用した事例をサイト利用者から募集し、サイト上で紹介

エ 人気データのランキング表示

閲覧数が多いデータをランキング形式で公開（データ閲覧数を一定期間集計のうへ開始）

(2) 利便性が向上した主な点

ア オープンデータの活用を支援するメニューが多様にある【利用者】

ダッシュボードによるデータ分析方法の公開やオープンデータ活用事例の紹介、ランキングによるニーズがあるデータの周知等のメニューにより、初めてオープンデータを活用するサイト利用者にとっても、親しみやすく、活用方法をイメージしやすい。

イ 複数の検索機能があり目的のオープンデータを見つけやすい【利用者】

キーワード検索機能や条件絞り込み機能など、複数の検索機能を搭載しており、利用者は目的のオープンデータを容易に見つけることができる。

ウ 他のオープンデータサイトと親和性が高い【利用者】

カタログページは、国や多くの自治体が採用しているソフトウェアを用いて構築しており、他のオープンデータサイトとの親和性が高く、自治体間をまたいでオープンデータを活用する際に利便性が高い。

エ データの閲覧数・ダウンロード数を把握することができる【管理者】

オープンデータごとの閲覧数・ダウンロード数の集計が可能であり、各データのニーズを分析し、充実・改善を図ることができる。

オ データの管理が容易である【管理者】

全てのオープンデータの詳細情報を一括出力することが可能であり、公開中のデータ数や各データの概要、最終更新日時等を随時把握することができる。

(3) サイト開設日

令和4年3月1日（火）

3 今後の展開

令和4年 3月 1日～

サイトの稼働開始

公開データの種類拡充・質向上

市公式ウェブサイト

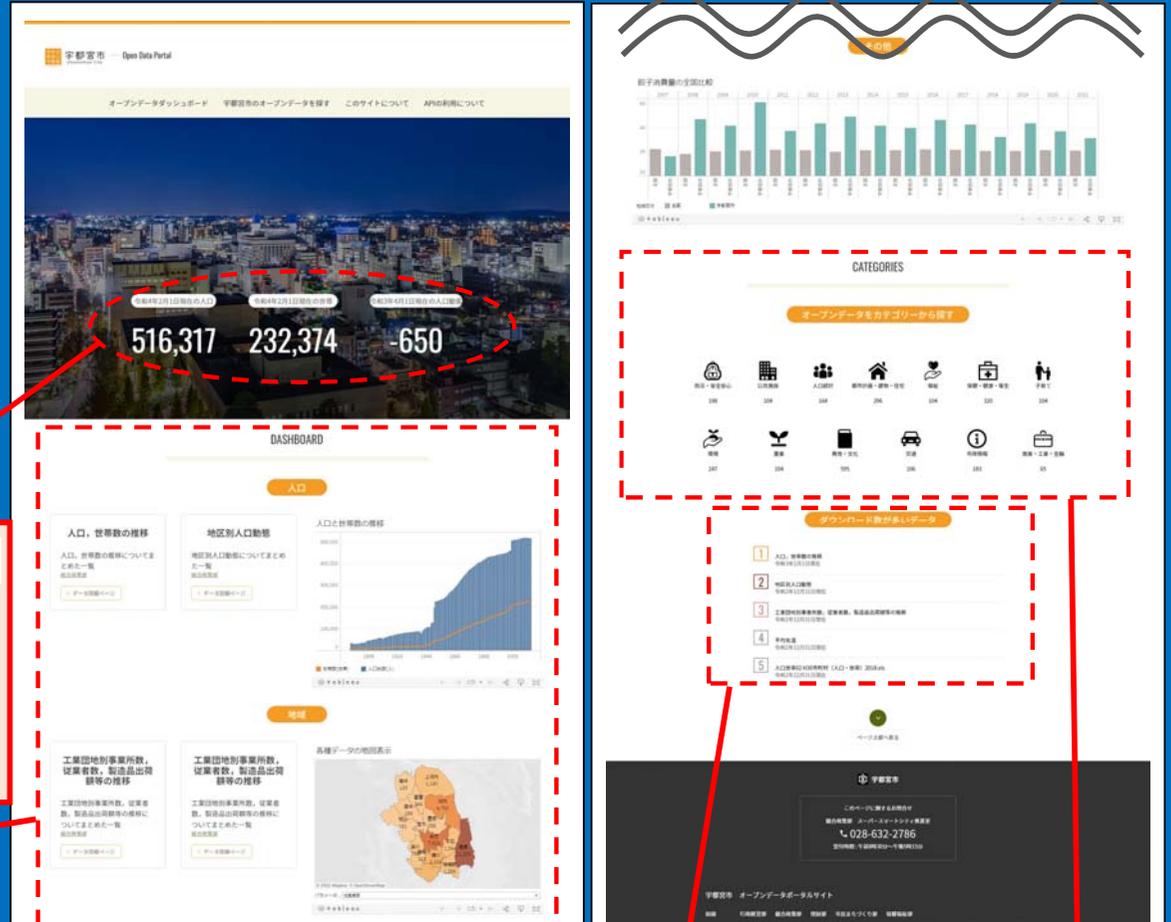


△ ページ名の羅列のみ

現在の市公式ウェブサイトのオープンデータトップページは、項目を羅列し、各ページへ遷移しやすくしているが、**図や写真を組み込んだ視覚的な表現が少ない。**

新しい
サイトでは

宇都宮市オープンデータポータルサイト



○ 直近のデータを表示

宇都宮市の人口や世帯数などのデータを表示し、直近の集計時に更新をするため、**データの「動き」**を表示

○ ダッシュボードの新設

宇都宮市における「人口と世帯数の推移を示すグラフ」や「地区別データを数値と色の濃淡で示す地図」など、オープンデータを基に作成したダッシュボードを公開

⇒ **宇都宮市の特徴を視覚的に把握**できる。

○ 人気のデータが目瞭然

ダウンロード数が多いデータをランキング順に表示
⇒ よく使われているデータがすぐわかる。(データをクリックすれば、公開ページに遷移する)

○ カテゴリからデータを検索

カテゴリをクリックすることで、そのカテゴリに該当するデータを絞り込んで表示した**カタログページ** (次のページ参照) に遷移することができる。

